

2003 年度 委員会活動成果報告

(2004 年 3 月 15 日作成)

委員会名	室内音響研究 WG	主 査 名：中川 清
所属本委員会 (所属運営委員会)	音環境小委員会	委員長名：藤本 一壽
設 置 期 間	2003 年 4 月 ~ 2005 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	<p>目的：室内音響全般にわたり研究上のトピックスを取上げ、シンポジウムを企画し、この分野の研究の活性化を図る。合わせて、3SWG において研究または実務レベルの要求に答えられる音響設計手法の確立または音響データを提供する。</p> <p>2003 年度計画：</p> <p>1.音響指標測定 SWG：G の現場測定による有効性確認。壁の散乱について検討。 2.音声伝送品質研究 SWG：インパルス応答データの収集と整理。音響学会研究会における活動成果の発表。 3.学校の音環境に関する研究 SWG：教室空間、音楽教室の音環境要因分析、学校敷地内外の騒音環境と騒音伝播に関する資料収集。</p> <p>2004 年度計画：</p> <p>1.音響指標測定 SWG：ストレングス G の安定測定方法の検討。壁の散乱に関する測定方法検討。国際規格の室内音響特性の測定法(ISO3382)についての検討。 2.音声伝送品質研究 SWG：インパルス応答データの収集と整理。音響学会研究会における活動成果の発表。 3.学校の音環境に関する研究 SWG：学校の音環境全般の謬レビューおよび音響計画上の基礎資料の整備。</p>	
委員構成 (委員名(所属))	<p>委員 15 名 オブザーバ 3 名</p> <p>[主査] 中川清(清水建設技研)</p> <p>[幹事] 渡辺充敏(大林組技研)、羽入敏樹(日本大学短期大学)</p> <p>[委員] 飯田一博(松下通信工業マルチメディアソリューション研究所)、 石田康二(小野測器 SV 事業部)、岩瀬昭雄(新潟大学工学部)、 小口恵二(永田音響設計)、織田慎一(NHK 技術局)、 河合康人(関西大学工学部)、岸永伸二(ヤマハアドバンスシステム開発センター)、 佐藤史明(千葉工業大学建築学部)、西川嘉雄(鴻池組技研)、 田端淳(大成建設技術センター技研)、福山忠雄(戸田建設技研)、 森本政之(神戸大学工学部)</p> <p>[オブザーバ] 古賀貴士(鹿島建設技研)、関口克明(日本大学理工学部)、 吉村純一(小林理学研究所)</p>	
設置 SWG (SWG 名：目的)	<p>1.音響指標測定 SWG (主査：佐藤史明) 室内の各種物理音響指標を測定するにあたり、測定法に起因する要因およびその程度を明確にする。</p> <p>2.音声伝送品質研究 SWG (主査：西川嘉雄) 建築・都市空間・設備の計画・設計に適用できる音声伝送評価・設計手法の確立を目標として検討を進める。</p> <p>3.学校の音環境に関する研究 SWG(主査：福山忠雄) 教室空間、音楽教室の音環境要因の分析、学校敷地内外の騒音環境と騒音伝播に関する資料を収集する。</p>	
2003 年度予算	126,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	2003/04/24 7 名 2003/06/03 8 名 2003/09/30 8 名 2003/11/21 7 名 2004/03/30 8 名

<p>得られた成果</p>	<p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)</p> <p>1.室内音響研究 WG: 関連音響測定法、関連国際学会の研究動向の議論とシンポジウム企画について議論を進め、平成 16 年度には 2 件を目標にシンポジウムを開催する。(予定)。平成 16 年度大会のオーガナイズドセッション[学校の音響]について、学校施設の音環境アカデミックスタンダード SWG とともに、企画から、プログラム編成、講演者の依頼までを遂行した。</p> <p>2.各 SWG の活動成果 3 SWG は活発な活動を行い、次の成果を得ている。(各 SWG 活動報告参照)</p> <p>2-1.音響指標測定 SWG: 成果は3月末を完成予定としてHP(英文)でまとめ中であり、平成 16 年4月に開催される、室内音響に関する国際シンポジウム(RADS2004)で発表予定。ストロングスGの安定した測定方法は議論にとどまり、共同実験は次年度に実施予定。</p> <p>2-2.音声伝送品質研究 SWG: 音声伝送の品質評価できる測定方法確立のため、音源スピーカ、出力、測定ポイント等の各問題の抽出作業を行った。また、室用途と音声コミュニケーションの形態分類表をまとめ、音声伝送評価の設計方法に関する整理を進めた。</p> <p>2-3.学校の音環境に関する研究 SWG: 学校の音環境全般のレビューを作成中。オープン教室の音環境評価に関する新評価手法を検討中。平成 16 年度大会における学校音響問題に関する発表 2 件(予定)。</p> <p>委員会 HP アドレス :</p>
<p>目標の達成度</p>	<p>(当初の活動計画と得られた成果との関係)</p> <p>全体としては年度計画に沿った成果が得られている。 平成 16 年度はシンポジウムやパネルディスカッションなどを開催して活動成果を紹介するとともに、関連分野の研究進展に寄与していく。</p>
<p>その他評価すべき事項</p>	<p>特になし。</p>